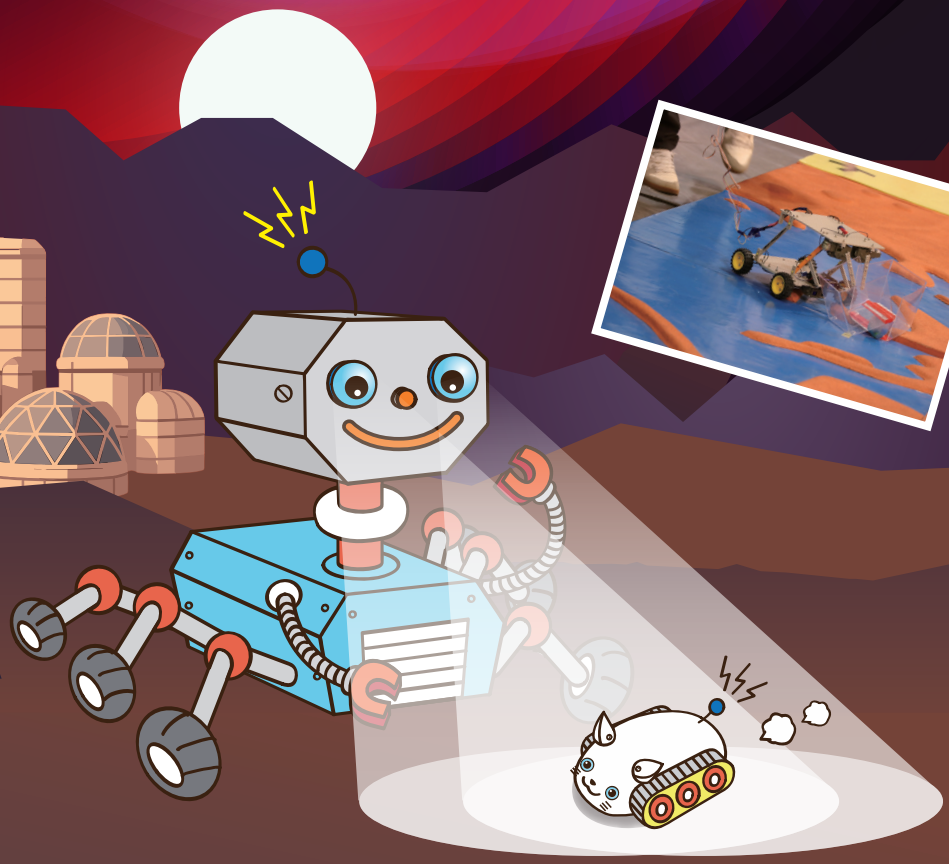
MARS EXPLORATION ROVER CONTEST the 28th ANNIVERSARY RALLY in CHIBA

千葉市 科学フェスタ
これからの私たち
2026

第28回 火星ローバーコンテスト in 千葉

2026.12.5(土)

小学生部門 9:00~11:30（予定） / **中学生部門** 12:30~16:00（予定）



会場	千葉市科学館 7階企画展示室
参加費	無料 ※参加には事前申込が必要です
申込期間	11.1(日)~11.13(金)17:00必着 詳しくは裏面をご覧ください。

主催 千葉市教育委員会 千葉市科学館

協力 NPO法人 ちばサイエンスの会、千葉工業大学惑星探査研究センター
大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 国立天文台
国立大学法人 千葉大学、国立大学法人 埼玉大学（順不同）

前回の様子はこちらから 第27回火星ローバーコンテストin千葉

小学生部門 ダイジェスト動画

中学生部門 No.1~8 ダイジェスト動画

中学生部門 No.9~16 ダイジェスト動画

MARS EXPLORATION ROVER CONTEST
the 28th ANNIVERSARY RALLY in CHIBA

第28回 火星ローバーコンテスト in 千葉

火星ローバー（探査車）をつくって、火星探検にでかけよう！

火星の表面を移動し観測・調査するための「ローバー（探査車）」を作り、その性能とアイディアを競うコンテストです。

大会要綱

参加資格： 小・中学生
※出場者・引率者合わせて4名まで入場できます。
出場者と引率者の内訳はチーム内で調整可。

競技部門： 小学生部門、中学生部門の2部門

参加申込： 「参加申込書」「アピールデータ」「ローバーの写真」を千葉市科学館に提出してください。
※申込多数の場合、書類選考を行います。

申込期間： 2026年11月1日（日）～11月13日（金）
17:00 必着

参加費用： 無料

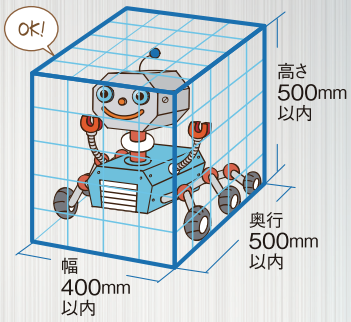
大会規定書および申込書類は、千葉市科学館ホームページからダウンロードできます。また、千葉市科学館内でも配布します。

ローバーの規格

コンテストに出場するローバーは、下記の規格を守って製作してください。
- **寸法：** 幅400×奥行500×高さ500mm以内
- **重量：** 3kg以内（コントローラ、電池等を含む）

コントローラ（有線・無線とも）や予備の電池・パーツを含めて3kg以内です。ご注意ください。

- **動力：** 市販されている電池または太陽電池を使用し、モーターを駆動、動力とする。
- ローバーが分離するのは可とする。



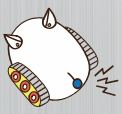
規格やルールの詳細は「第28回火星ローバーコンテストin千葉 大会規定書」にてご確認ください。

表彰

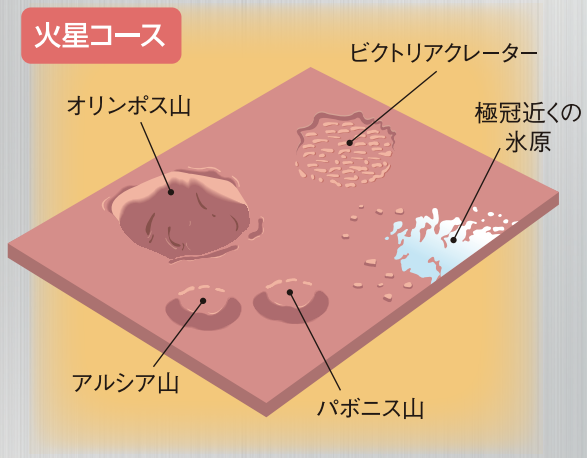
出場者全員に参加賞を、また成績優秀な出場者には別途賞品を後日授与します。

コンテスト概要

各競技で獲得した点数の合計を競います。
※小学生部門、中学生部門ともに同じ競技内容です。



競技名称	競技の内容
プレゼンテーション	ローバーの工夫点を審査員にアピールします。
火星コース走行	模擬火星表面の探査を行います。1台ずつ指定された探査ポイントを通過しながら走行します。
火星コースサンプル採取	模擬火星表面を2チーム1組*で協力し、サンプル採取を行います。採取したサンプルによって獲得点数が決まります。 ＊組み合わせは当日発表します。



関連イベント

連続講座「火星ローバーを作ろう！」

キットを使用してローバーを組み立て、ローバーの仕組みや改造の実例について学びます。

7月18日（土）・8月8日（土）
会 場 千葉市科学館 8階 科学実験室B

申込直前！「火星ローバーレベルアップ教室」

自作のローバーの改良について直接相談してみましょう。

10月31日（土）
会 場 千葉市科学館 8階 科学実験室B

試 走 会

コンテスト前に以下の日程で坂道や段差を使っての走行練習ができます。改良のヒントを探る相談コーナーも設置予定です。
※火星コースでの練習が行えます。

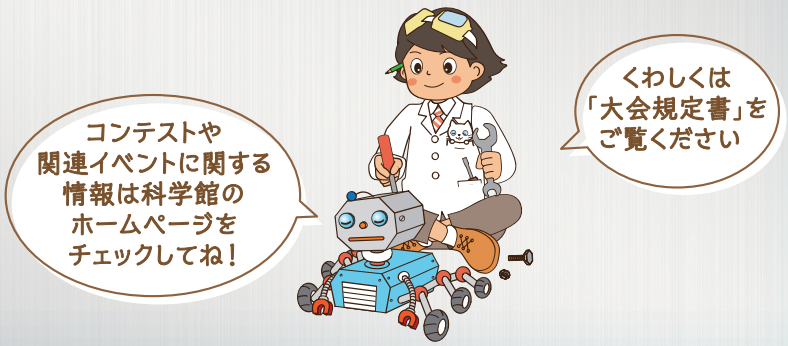
11月28日（土）
会 場 千葉市科学館 7階 企画展示室

お問合せ

千葉市科学館　千葉市中央区中央4-5-1 Qiball（きぼーる）内 7~10階
TEL 043-308-0511（代表）　開館時間 9:00~19:00
https://www.kagakukanQ.com
休館日　不定休（科学館ホームページでご確認ください）

交通アクセス

電車　JR千葉駅から徒歩15分／京成電鉄千葉中央駅から徒歩6分
千葉都市モノレール　葭川公園駅から徒歩5分
バス　千葉駅東口7番乗り場より中央三丁目下車徒歩1分



※諸事情により、変更・中止となる場合があります。

第28回 火星ローバーコンテストin千葉

大会規定書

2026年度版

Chiba City Museum of Science 千葉市科学館

もくじ

P１ ・・・ はじめに　～調査対象は、火星だ！～

P２ ・・・ 保護者の皆様へ　※必ずお読みください

P４ ・・・ ローバー製作からからコンテスト当日までの流れ

P５ ・・・ コンテストのルール

P10 ・・・ 競技のながれ

P11 ・・・ プレゼンテーションのルール

P12 ・・・ 火星コース走行のルール

P13 ・・・ サンプル採取のルール

P14 ・・・ サンプル採取 ミッションに関する情報

P15 ・・・ 獲得点数の計算方法 ／ 表彰について

P16 ・・・ コンテスト申込みの流れ

P17 ・・・ 書類審査後から大会直前までの仕様変更について

P18 ・・・ 書類選考について

P19 ・・・ 申込書の書き方

P20 ・・・ アピールデータの書き方

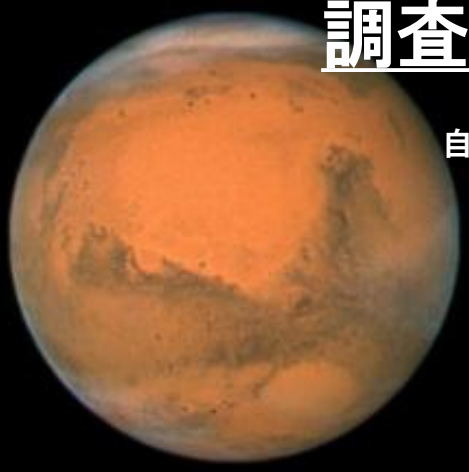
P21 ・・・ 第28回 火星ローバーコンテストin千葉　申込書

P22 ・・・ 第28回 火星ローバーコンテストin千葉　アピールデータ

Chiba City Museum of Science 千葉市科学館

＜申込み・問い合わせ先＞
住　所：〒260-0013　千葉市中央区中央4丁目5番1号
千葉市科学館「火星ローバーコンテストin千葉」事務局
電　話：043－308－0511（代表）
ＵＲＬ　https://www.kagakukanQ.com

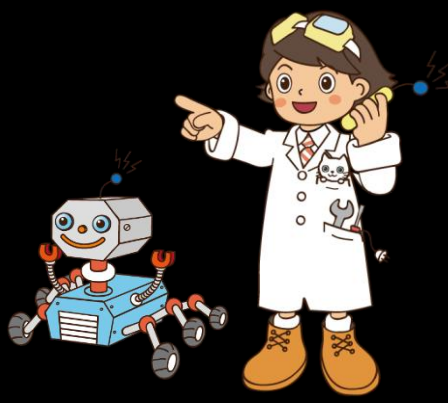
調査対象は、火星だ！



(C) 宇宙航空研究開発機構
(JAXA)

自分で作ったローバー(探査車)で、
火星探査のミッションに
チャレンジしよう！

いざ、地球から火星へ！
ローバーを積んで出発せよ！！



★火星の基本情報★

- 太陽からの平均距離：2億2,794万km
- 大きさ（赤道半径）：3,396km
- 質量（地球に対して）：0.11倍
- 公転周期：1.88年（約687日で太陽の周りを1周します）
- 自転周期：1.03日（約24時間37分で1回転します）
- 衛星の数：2（フォボスとダイモス）

火星は地球の半分ほどの大きさの惑星で、重力は地球の約1/3です。
また、自転軸が傾いているので、地球と同じように四季の変化も見られます。

火星にあるオリンポス山は富士山の約7倍の高さがあり、太陽系で一番高い山といわれています。
他にも太陽系最大級の谷であるマリネリス峡谷があります。
赤く見える大地には、酸化鉄（赤さび）が多く含まれており、月に似たクレーターが多くあります。
表面を薄く覆う大気のほとんどは二酸化炭素で、たびたび竜巻や激しい砂嵐が発生しています。

★これまでの火星探査★

これまでに多くのローバーが火星に送られ、探査を行っています。2019年2月に運用を終えたアメリカの火星ローバー「オポチュニティ」は、約15年間もの長い間、火星から地球へ火星の写真やデータを送り続け、火星の隕石や水の存在を我々に教えてくれました。
現在、火星ではアメリカの探査車「キュリオシティ（2012年～）」「パーサヴィアランス（2021年～）」が活動中です。これからのさらなる発見に注目していきましょう！

参考：宇宙航空研究開発機構(JAXA)

★今年のニュース★

米航空宇宙局（NASA）の火星探査車「パーサヴィアランス」は、火星の北半球に位置するジェゼロ・クレーターで採取した泥沼に有機炭素や硫黄、酸化鉄、リンが豊富に含まれていることを明らかにしました。これらの成分は微生物が活動する際のエネルギー源になりうることから、潜在的な生命存在指標（バイオシグネーチャー）として注目されています。これらの物質は生命活動を伴わずに生成されることもあるため、これだけでは火星に生命が存在した証拠とは言い切れません。しかし、生命の直接的な痕跡とはいえないまでも、火星が必ずしも“死の惑星”ではなかったことを示す重要なヒントとなりうると期待されています。

保護者の皆様へ

コンテストにおける重要事項です。必ずお読みください。

1．火星ローバーコンテストin千葉とは

1999年（平成11年）に千葉ポートアリーナにおいて第1回が開催され、第9回大会から千葉市科学館に会場を移して毎年開催しています。

「火星探査」をテーマとして子どもたちの探究活動に対する興味・関心を引き出し、実際に火星を探査するためのアイデアを駆使したローバー（探査車）の製作と競技への挑戦を通して、自ら問題を発見・解決のための考え方を身に付ける機会とすることを目的としています。

競技は、ローバーのプレゼンテーション、火星コース走行、他チームと協力して行う火星コースサンプル採取の3つです。走行やサンプル採取の成功率を上げるために創意工夫をする力や技術力を磨くとともに、最後まで諦めず取り組む力を育んでほしいと思います。

2. 競技内容

小・中学生を対象に、出場者が自作したローバー（探査車）の性能だけでなく、オリジナリティあふれるデザインやアイデアを競うコンテストです。火星を模した「火星コース」でローバーを走らせ、2チーム1組で「サンプル採取」のミッションにも挑戦します。

※ローバー（探査車）とは、地球以外の天体の表面を移動し、観測するための車両のことです。

※「サンプル採取」の組み分けは、当日発表いたします。

3. 参加方法

大会規定書をご確認の上、参加するローバーの写真6枚と申込書（21ページ）およびアピールデータ（22ページ）に必要事項をご記入の上、「千葉市科学館 火星ローバーコンテストin千葉 事務局」まで提出ください。

なお、申込書には「保護者署名欄」があります。本規定書の内容を確認しコンテストへの参加を承諾いただける場合は、直筆で署名をお願いします。

※詳しくは**「コンテスト申込みの流れ」**（17ページ）をご覧ください。

4. 当日の引率、ご見学について

・ピットがある場所（8階実験室）への保護者及び引率者の入場を希望される場合、【出場者・引率者併せて4名まで】となります。申込用紙に記載し、事前登録を行ってください。登録がない場合は、入場できません。

・コンテストの見学のみの場合は、【招待券】に記載された時間でご利用いただけます。
【招待券】を競技会場入口（7階企画展示室）でご提出いただき、会場にご入場ください。
※コンテスト当日、会場へ入場できる人数を会場内の混雑状況により制限させていただきます。
７階のパブリックビューイングを併せてご利用ください。

・競技会場内にある競技エリア内への立ち入りは、操縦者（2名まで）およびプレゼンテーション発表者（終了後は観戦エリアへ移動）のみ入ることができます。※調整・修理の際は確認・相談をしてください。

・大会当日受付終了後のローバーの調整・修理は、出場者本人が行ってください。本人以外が調整・修理を行った場合は、失格となります。※アドバイスは可能。
※失格となった場合は、審査対象外になりますが走行のみ可能となります。ご注意ください。

保護者の皆様へ

コンテストにおける重要事項です。必ずお読みください。

5. 個人情報の取り扱い

本コンテスト参加にあたり、個人情報をご提出いただきます。提出された個人情報は、火星ローバーコンテストin千葉事務局が管理し、本コンテストの審査や関連の連絡のために使用いたします。第三者へ個人情報の提供は一切いたしません。コンテスト終了後、適切に処理いたします。

また、本コンテストの実施結果発表の際に、入賞者の氏名・学校名・学年・ローバー名・ローバーの写真を広く一般に公表します。予めご了承ください。

6. 著作権および肖像権

- 大会当日、出場者が活動している様子を撮影いたします。撮影データは、広報および、本コンテストの実施結果発表の際に使用する場合がございます。予めご了承ください。
- コンテストの様子を千葉市科学館のYouTube公式チャンネルにて配信する予定です（当日は申込者・関係者を対象とした生中継の限定配信をし、後日編集版を一般公開）。
  出場者および引率者の映像が配信されますので、予めご了承ください。
- 取材が入り、出場者および引率者の映像が放映される場合がございます。
  予めご了承ください。
- 他の参加者もいらっしゃいますので、会場の様子などの画像・動画を個人のSNS等に掲載しないようにお願いします。

【第27回大会のコンテスト紹介動画はこちら！】

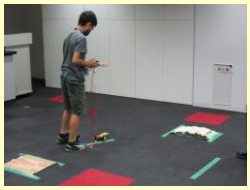
▼関連イベントはコチラ！参加方法は、科学館ホームページでご確認ください。

連続講座

火星ローバーを作ろう！

7月18日(土)、8月8日(土)

コンテストに出たいけど、どうやって作るの？
ロボットや宇宙に興味があるけどという方にオススメです。
キットを使って、ローバーの組立て、走行、アームの取り付けなどコンテストへ出場するための基礎が学べます。



申込直前！

火星ローバー レベルアップ教室

10月31日(土)

申込直前の最終調整と自作ローバーの改善とレベルアップを目指します。

●コンテストに参加するまでの流れを確認しよう。
スケジュールをしっかり立てて、ローバー製作に取り組もう！！

ローバー製作

※第28回火星ローバーコンテストin千葉「大会規定書」をしっかり確認して、
規格（P.7）に合ったローバーを製作しよう！

何から始めたらいいのかやコンテストに出るためのローバーにするためには・・・
という方には、関連イベントへの参加がオススメです。

提出書類の記入・写真撮影

※提出書類の詳細については、P.18～２２を確認してください。

書類の不備がないか
確認して提出しよう

コンテスト申込み

申込み期間　11月1日（日）～11月13日（金）17:00締め切り
※申込日時内に提出ができなかった場合、減点になります。
※申込み多数の場合は、書類選考を行うことがあります。

コンテスト出場決定！

審査後の仕様変更を
行ったら「変更届」
を必ず提出しよう

※11月19日ごろまでに結果を郵送でお送りいたします。
11月27日までに書類が届かない場合は、事務局までご連絡ください。

※書類審査後は、条件付きで仕様変更が可能です。
仕様変更を行ったら返送書類にある「変更届」を必ず提出してください。
詳しくは、P17を確認してください。

試走会申込みスタート

※11月21日（土）9:00～前日23:59まで先着順で申込み受付。

試走会　11月28日（土）

コンテストまで
あと1週間！！

※コンテスト当日に使用するコースを使っての試走ができます。
※残席があれば、当日受付も行います。

火星ローバーコンテスト in 千葉　12月5日(土)

※コンテスト競技内容については、P.11～15を確認してください。

コンテストのルール

わからないことがあれば、
事務局に聞いてみよう。
問い合わせ先１６ページを
確認してね。

１．「火星ローバーコンテストin千葉」って何？

小・中学生を対象に、出場者が自作したローバー（探査車）の性能だけでなく、オリジナリティあふれるデザインやアイデアを競うコンテストです。火星を模した「火星コース」でローバーを走らせるほか、2チーム1組で「サンプル採取」のミッションにも挑戦します。

※ローバー（探査車）とは、地球以外の天体の表面を移動し、観測するための車両のことです。

※「サンプル採取」の組分けは、書類審査後、実行委員長による厳選なる抽選にてチーム分けを行います。チーム発表は当日行います。

２．出場資格

小学生、中学生であること。

- 1名から参加OK！兄弟や友だちと一緒に出場することもできます。
  ※小学生と中学生が一緒にチームを組む場合、中学生部門への出場となります。
- 同じ人が複数のチームのメンバーになることはできません。
- 小学生・中学生以外（保護者や教員など）が出場者として登録することはできません。
- ローバーの操縦者は、メンバーのうち2名までとします。
  ※操縦者とは「コントローラを持ちローバーの操縦を行う人」のことです。
  親機･子機に分かれるなどで同時に2つのコントローラを使用する場合や
  1つのコントローラを途中交代して使う場合には操縦者が2名となります。
  コントローラの有線コードを支えるだけの場合は操縦者としてはみなしません。
  ※詳しくは**「５．競技エリアについて」**（６ページ）をご覧ください。

３．競技部門

小学生部門、中学生部門ともに共通の競技内容となります。

競技	【競技①】 プレゼンテーション	【競技②】 火星コース走行	【競技③】 火星コースサンプル採取
該当ページ	１１ページ	１２ページ	１３・１４ページ

- 火星コース走行の競技直後に、操縦者へ「**ヒアリングタイム**」があります。
  アピールデータの内容や競技の様子を元に、審査員から操縦者へ質問がありますので、答えましょう。この内容を、審査の参考にします。
- 火星コースサンプル採取では、一緒にサンプル採取を行うチームとの**「作戦会議」**を行います。作戦内容も競技前に発表する時間があります。審査の参考となりますので、しっかり作戦を立られるようにしましょう。

4．コンテストのながれ

- 小学生部門は9：00～11：30頃、中学生部門は12：00～16：00頃に行われます。
  くわしい集合時間、解散時間については申し込み後にお知らせいたします。

集合 → **受付**

エントリー証を持って受付しよう！
遅刻すると失格になるので気を付けてね。
受付が終わったらピット（8階実験室）へ移動しよう。

↓

車検・競技説明

ゼッケンと名札を付けたら、車検に必要な物品を持って会場前の車検スペース（7階）へ移動しよう。
そのまま、競技になるので忘れ物がないか確認！！

↓

競技①、②
プレゼンテーション
火星コース走行
ヒアリングタイム

１つめの競技だ！
自分の言葉でローバーの工夫したところをアピールする「プレゼンテーション」、審査員と話をする「ヒアリングタイム」の内容も審査されるので、しっかり対策をしておこう。

↓

競技③
火星コースサンプル採取

作戦会議をはさんで、2つめの競技だ！2チームでサンプルの採取やミッションに取り組むよ。協力してどれだけのミッションをクリアできるかな…！？

↓

ピットにて解散
参加賞受取

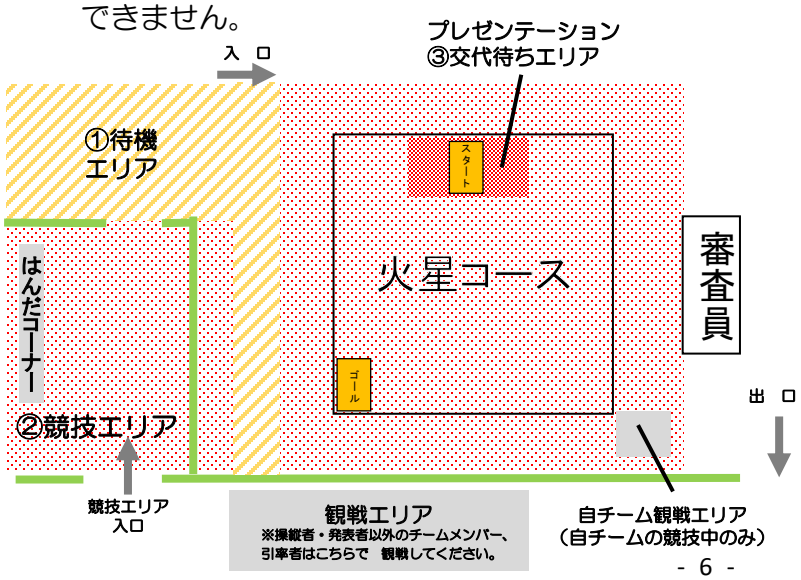
参加賞を受け取った人から解散だよ。
コンテストの結果は科学館ホームページでお知らせするので、楽しみに待っていてね！
※コンテスト終了後、館内を見学希望される場合は有料となります。

5．競技エリアについて（入ることができる人）

- ①待機エリアには、**操縦者(2名まで)およびプレゼンテーションの発表者のみ**入ることができます。
  ※待機エリアのイスに座れるのは、ローバーを持った操縦者のみです。
  ※上記以外のメンバーおよび引率者は、待機エリアに入ることができません。入るとチームが失格になる場合があります。
  自チームの競技中に限り、「**自チーム観戦エリア**」を利用できます。

- ②競技エリアには、**操縦者(2名まで)のみ**入ることができます。
  ※操縦とプレゼンテーションを別の方がおこなう場合、発表者は発表が終わり次第、待機エリア側へ退出してください。
  ※競技後のヒアリングタイムは操縦者のみがおこないます。

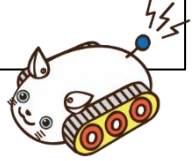
- 火星コース上には、**コントローラを持つ操縦者のみ**上がることができます。
  1台のローバーを2名で交代して操縦する場合、1名は③交代待ちエリアの中から外に出ることはできません。



★操縦者を交代する方法★

①操縦者はその場にコントローラを置き、審判に交代することを伝える。
↓
②交代する2名の立ち位置が逆になったら審判の合図で操縦を始める。

※交代の間も制限時間は経過するので、すばやく交代しましょう。



※レイアウトは、
都合により変更する場合があります。
※はんだを使用したいときには
実行委員へ声がけください。

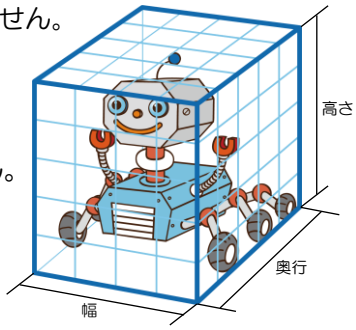
6．ローバーの規格

寸法：幅400mm×奥行500mm×高さ500mmの直方体に収めてください。
※ローバー本体、子機、コントローラ、調整・修理で使用する予備の電池・部品を含みます。

重量：3kg以内に収めてください。
※ローバー本体、子機、コントローラ、調整・修理で使用する予備の電池・部品を含みます。

動力：市販の電池・充電池、または太陽電池を使ってモーターを動かしてください。
※充電池は事前に充電をしておいてください。原則、会場での充電はできません。
※コンテストの会場は屋内です。

子機：親機と子機に分離するローバーでの参加もOKです。
上記の寸法、重量、動力の規格を守りましょう。
子機もローバー本体と一緒に、コースを走行させなくてはいけません。



●分離するローバーで出場する方へ●
- 分離していない状態でスタートしてください。
- ローバー本体に子機を搭載した状態で走行してもかまいません。

★ローバーを製作するときは、
上記の規格と「１０．　禁止事項・失格について」（８ページ）が守られているか、確認しよう！

7．無線コントローラについて

- 無線コントローラは、申込書に記入した種類のものを当日も使用してください。
- 混信の可能性があるため、自チームの競技と動作確認、指定された場所での操縦練習の時間以外は操作を行わないでください。
  ※スマートフォンやタブレット端末をコントローラとして使用する場合も同じです。
  ※動作確認や操縦練習は、各チームのピットではなく、指定の場所でおこなってください。

8．調整・修理について

- 調整・修理に使う部品はすべて車検で提示しましょう。→**「9．車検について」**
- ※予備の電池や部品等も含みます。
  ※車検で提示されなかった電池や部品等を使用すると、**失格**になります。
  ※工具・充電器・プログラム用のパソコン・マウスは車検に含みません。
- 調整・修理は、決められた場所でおこなってください。
- 当日、受付終了後の調整・修理は、出場者本人がおこなってください。
- 動作確認や操縦練習は、各チームのピットではなく、指定の場所でおこなってください。

9．車検について

競技説明前に、ローバーの車検をおこないます。このとき、点検内容に違反があると「失格」になります。
車検終了後、すぐに会場に入ります。ピットに戻れないので忘れ物に注意してください。

実施時間	点検内容
競技説明前	● 寸法の測定（幅４００ｍｍ×奥行５００ｍｍ×高さ５００ｍｍに収まるか） ● 重量の測定（３.０ｋｇ以内に収まるか） ［ローバー本体、コントローラ、子機、調整・修理で使用する部品・電池含む。］

※上記「調整・修理について」をご確認ください。

１０．禁止事項・失格について

★禁止事項をおこなってしまった場合、「失格」となる場合があります。

ローバーについて	①「変更届」の提出なくローバーの仕様変更を行った場合。 ② 規格を守っていないローバーの使用。 ③ 車検後のローバーの大きな仕様変更（改造）。 ④ 走行することでコースを破損させたり、会場の環境を悪化させる機構の搭載。 ⑤ プロペラなどを使用した飛行。 駆動部分が一体化された市販キットを組み上げただけのローバーでの参加。 ※モーター、タイヤ、ギヤボックス、電池ボックスなど個別の市販部品を使用しての製作は可。 ⑥ 車検時に提出しなかった部品、電池を使用しての調整。 ⑦ 自分の競技・動作確認時間以外での、無線コントローラの使用。 ⑧ 当日、指定された場所以外でローバーの動作確認や操縦練習を行うこと。
出場者、指導者について	① 受付終了時刻までに受付を終了しなかった。 ② 審判の判定に干渉すること。 ③ 引率者（保護者や教員など）がコース内へ入ること。 ④ 引率者（保護者や教員など）が当日受付後、ローバーを調整・修理すること。 ※出場者以外は行う事ができません。アドバイスは可能です。 ⑤ 対象外のチームメンバー、引率者が競技エリアへ入ること。（詳しくは6ページ）

※「失格」となった場合は、審査対象外になるが走行のみ可能。

１１．審議対象について

- 書類審査時に提出したローバーと実際に競技で使用したローバーが変更条件を満たしているか審議の対象となります。条件を満たしていないと判断された場合は、20点減点となります。

  ※変更条件については、P.17を確認してください。

１２．減点について

★減点項目を確認して、高得点を目指そう！

競技時間に間に合わない（スタート遅延）	２０点減点
変更受付期限を過ぎて「変更届」を提出した	
変更条件を満たしていない	
走行不能になったローバーに手をふれて動かす	各１回につき ５点減点 （最大３０点減点まで）
ケーブルを引っ張りローバーを制御する	
自分の足や手など体でローバーを制御する	

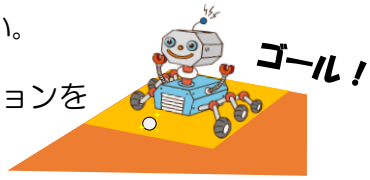
13．各競技における得点、および終了の判定

火星コース走行 の判定について

- 「ローバーの一部が走破ポイント①～⑤内に入った」と審判が判定すると、得点となる。
  ※分離した場合、親機・子機のどちらかがポイント内に入った時点でポイント走破の得点とする。
- 「時間内にローバー全体がゴールエリアに入る」もしくは「制限時間切れ」で競技終了とする。
  ※分離した場合、両方ともゴールすること。

火星コースサンプル採取 の判定について

- サンプルa～dを運び、「サンプル全体がゴールエリアに入った」と審判が判定すると、得点となる。
  ※ゴールを確認後、実行委員がローバーからサンプルを回収する。
  ※サンプルがコースアウトしてしまった場合、そのサンプルの得点は入らない。
- シークレットミッションの内容は当日発表する。
- 「時間内にサンプルa～dすべての採取完了およびシークレットミッションを達成する」もしくは「制限時間切れ」で競技終了とする。
  ※ミッション終了時、ローバーはコース上のどの場所にあっても良い。



14．スタート位置について

火星コースにおけるスタート位置について

- ローバー全体がスタートエリア内に入っていること。
  ※分離するローバーの場合、親機・子機が分離していない状態とする。
  分離は、スタートエリアから出たのち分離とする。

15．走行不能になった場合

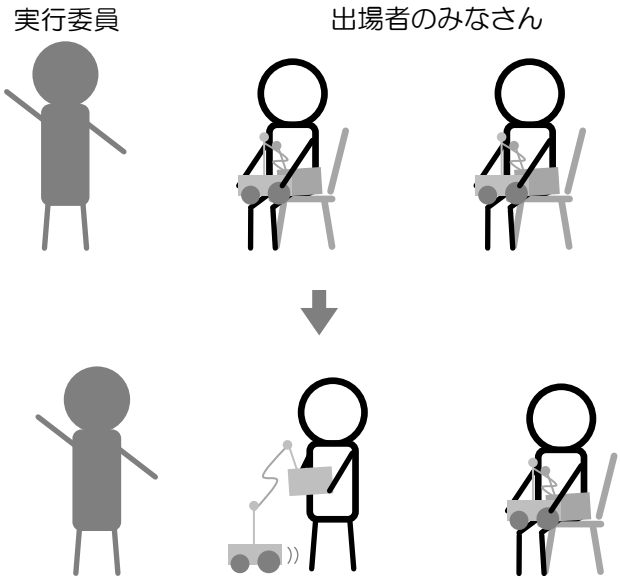
こんなとき、どうしよう！
どうなるの？

走行不能とは、ローバーがコースアウトしたり、
故障や障害物などによって動かなくなったりしてしまうことです。
走行不能になってしまった場合、どうなるのか確認しましょう。

①	故障により、ミッションを続けることができない！	走行を中止して、その場所までに得た得点で審査されます。
②	ローバーがひっくり返ってしまった、コースアウトしてしまった！	審判から指定された場所にローバーを置き、走行を再開します。（5点減点）
③	段差や砂利などにより、ローバーが動けなくなってしまった！（探査ポイントのクリアが困難である）	以下の条件を認め、操縦者が審判に申し出た場合、審判から指定された場所にローバーを置き、走行を再開します。 ① クリアできなかった探査ポイント、走行タイムの点数は与えられません。 ② 先のエリアへ進める際に「ローバーを手で触れて移動させる」ため、5点減点となります。
④	通信が他の参加者と混信し、操作不能になった！	● 一度だけ「やり直し」ができます。やり直したいときは、操縦者が審判に「やり直し」を申し出てください。 ● 審判の指示に従って、走行を再開してください。 ※制限時間は経過するので、すばやく判断し、行動しよう！

競技のながれ

5、6ページも
合わせて
確認しよう！



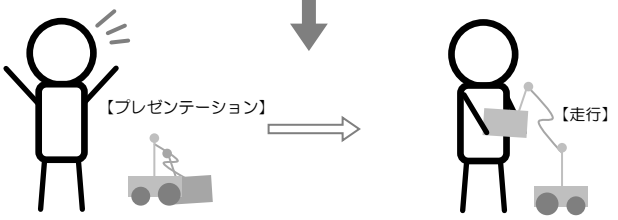
・会場に入場したら、待機エリアで待ちましょう。
※待機席に座ることができるのは、
<u>ローバーを持っている操縦者</u> のみです。
※待機エリアに入ることができるのは、
<u>操縦者、プレゼンテーションの発表者</u> のみです。

・直前になったら、実行委員と一緒に動作確認します。

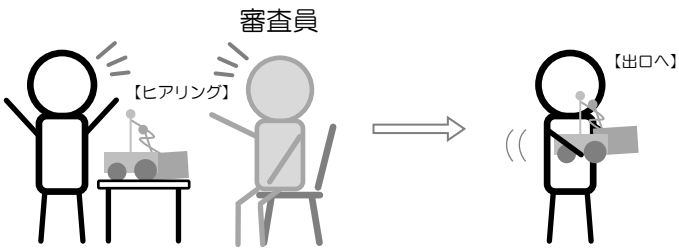
<u>ローバーが動かないときは…</u>
以下の選択肢から選ぶことができます。
この時のみ、引率者を呼んで相談することができます。
①そのまま順番通り、競技に挑戦する
②出走順を最後に繰り下げて、調整する
※「競技開始に間に合わない」ので、**20点減点**
③出走せず、プレゼンテーションのみとする
※「競技開始に間に合わない」で、**20点減点**

競技①、②

プレゼンテーション
火星コース走行
ヒアリングタイム



スタート地点にローバーとコントローラを置き、
プレゼンテーションをおこないます。
終了後、すぐにスタート位置に移動し、
実行委員の合図で走行スタート！

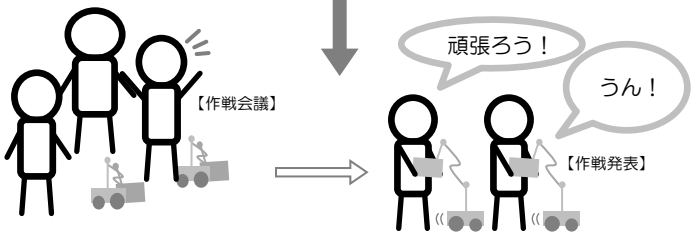


走行の終了後、審査員とのヒアリングがあります。
ヒアリングが終わったら、出口から出て待機エリアに戻りましょう。

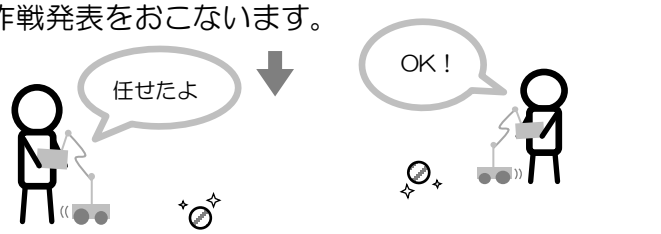
「作戦会議」を行います

競技③

火星コースサンプル採取



スタート位置にローバーとコントローラを置き、
作戦発表をおこないます。



終了後、実行委員の合図でサンプル採取スタート！

サンプル採取では、ヒアリングがありません。
競技終了後、そのまま出口から出て、待機エリアに戻りましょう。

競技終了！

【競技①】　プレゼンテーションのルール

▶ 指　令	審査員にローバーの工夫点などを説明せよ！

ポイント　以下の5項目についてわかりやすく説明できるよう、工夫点をまとめておこう！
また、制限時間内に話せるよう、プレゼンテーションの練習をしておこう！

▶制 限 時 間	1分以内

▶ 得　点		
	① 走行能力を高める工夫 ローバーが倒れないように、段差を越えられるように、また宇宙ゴミが出ない（パーツが外れない） ようにするなど、火星表面の走行を想定してどんな工夫をしているかな？ また、自分のローバーの特徴を活かした操作をすることはできたかな？	各１０点満点
	② サンプル採取における作戦 自分のローバーの特徴を活かした作戦を考えられたかな？	
	③ 試走内容の評価 コンテストまでにどんな場所・どんな内容で試走をしたかな？ 試走して何か気付いたことはあったかな？	
	④ 工作作品のオリジナリティ 地球とは違う環境である「火星」を探査するローバーとして、他のローバーにはない、キミだけの工夫をしているかな？ （パーツの使い方、重心の取り方、アームの形状…）	
	⑤ 説明内容の評価 ①～④の内容について、声の大きさや話すスピードなどに気を付けて、上手にアピールできたかな？ また、コンテストや火星探査への意気込みを強く伝えられたかな？	

※減点・禁止事項については8、9ページを確認しよう！

地球とは違った環境である「火星」を実際に探査することを想定して作ろう。
オリジナリティあふれるアイデアやデザインを考えよう。また、使い終わった人工衛星や壊れてとれてしまった部品など、宇宙空間にある人工物は「宇宙ゴミ」となるため、たとえ小さなものでも宇宙ゴミが出ないような工夫や、凸凹とした火星表面を走行するための工夫を
考えてみよう。

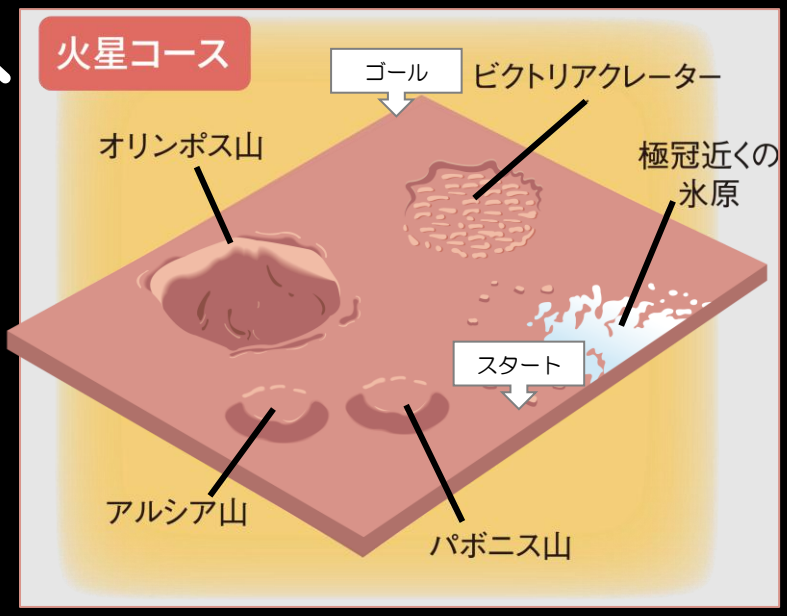
【競技②】　火星コース走行のルール

▶ 指　令	模擬火星表面を走行しながら、指定された探査ポイントを走破せよ！ ①～⑤の探査ポイントの走行順は問わない。

ポイント　どの順番で探査ポイントを走行するか、よく考えよう！
全ての探査ポイント走破を目指すのか、制限時間以内のゴールを優先するのかは、
君たちの作戦次第だ。

▶ コース

▼コース情報
コ　ー　ス：一辺　7000mm
オリンポス山：標高　486.7mm
パボニス山：標高　87.6mm
アルシア山：標高　87.6mm



▶ 制限時間	3分以内

▶ 得　点

① 極冠近くの氷原走破	各５点
② パボニス山走破	
③ アルシア山走破	
④ オリンポス山走破	１５点
⑤ ビクトリアクレーター走破	１０点
⑥ 時間内ゴール（3分以内にゴールすることができたか）	１０点

※減点・禁止事項については8、9ページを確認しよう！

【競技③】　サンプル採取のルール

▶ 指　令	火星で合流した他のチームと協力し、より多くのサンプルを採取せよ！ チームワークも評価の対象だ。サンプルａ～ｄの採取順は問わない。 採取したサンプルポイントは、チームでのポイントとして共有されるぞ。

ポイント　高得点を目指すために、どの順番でサンプルを採取するか、よく考えよう！
また、「チームワーク」もポイントだ。チームはコンテスト当日に発表するよ。

▶ 作戦発表について	① 探査･サンプル採取をするための工夫 採取を行うパーツや採取する方法には、どんな工夫をしているかな？ また、実際に作戦通り採取できたかな？	１０点満点
	② サンプル採取に適した走行 火星の調査を進めるためにとても大切なものである「サンプル」をゴールまで運ぶとき、壊さないように走行できているかな？ また運び方にどんな工夫をしているかな？	各２０点満点
	③ チームワークとアイデア 作戦（アイデア）の内容、それをもとにしたチームワークを審査するよ。 また、ミッション中にトラブルが起こった場合、「チームとして」どう対応するかな？	

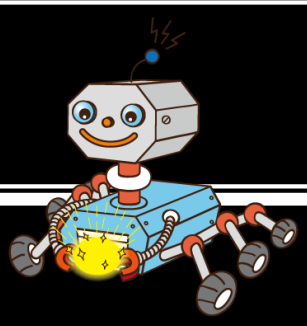
★作戦会議をしよう！★
コンテスト当日、自分が誰と一緒にミッションに挑戦するか確認しよう。
みんなのピットに置いてある「作戦会議シート」を使って、相手チームと一緒に作戦会議をしよう！その内容を作戦発表で説明してね。

▶制限時間	3分以内

▶ 得　点	① 探査・サンプル採取をするための工夫	１０点
	② サンプル採取に適した走行	２０点
	③ チームワークとアイデア	２０点
	④ ミッションポイント	
	（ゴールまで運べたら得点）サンプルa	１０点
	サンプルb	５点
	サンプルc	１０点
	サンプルd	１０点
	⑤ シークレットミッション（コンテスト当日発表）	１５点

※減点・禁止事項については8、9ページを確認しよう！

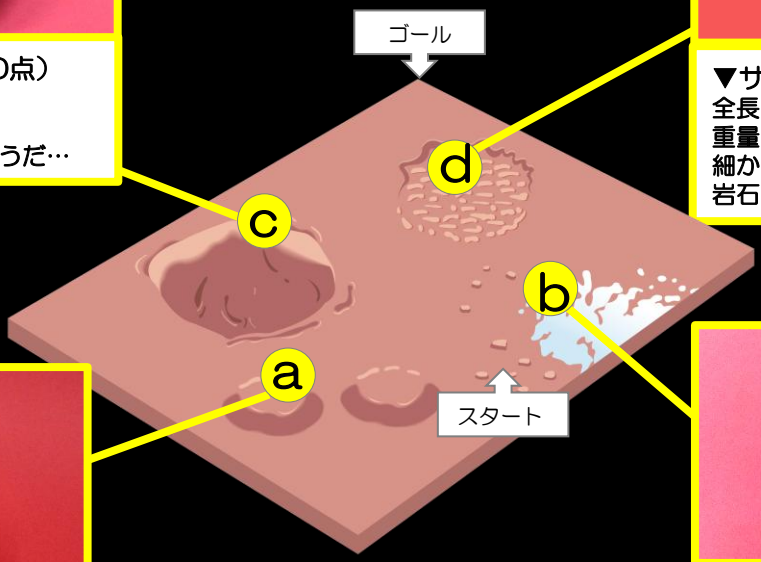
サンプル採取
ミッションに関する情報



火星上空からの解析データが届いたようだ！
サンプル採取に役立つ情報が得られたよ。

▼サンプルｃ（10点）
全長：約 80mm
重量：約 30g
丸くてよく転がりそうだ…

▼サンプルｄ（10点）
全長：約 80㎜
重量：約 92g
細かい岩石の中に、平たい
岩石を発見！



▼サンプルａ（10点）
全長：約 55mm
重量：約 6g
アルシア山の頂上にも
未知の物質を発見！
採取しに行こう。

▼サンプルｂ（5点）
全長：約 60mm
重量：約 60g
大きな氷のかたまりだ！

【サンプル展示について】

コンテストの前に、サンプルa～dを展示します。
よく観察してローバーの製作に役立てよう！
期間：2026年7月18日(土) ～ 11月29日(日)
場所：千葉市科学館 7階
ミュージアムショップ横ガラスケース

▼シークレットミッション （15点）

新たな基地建設が
計画されているようだ・・・

詳しい内容は、コンテスト当日に発表されるよ！

要チェックだ！

獲得点数の計算方法

各競技での得点、および合計得点を紹介します。

小学生部門 ・ 中学生部門	プレゼンテーションの得点　（50点満点）	合計200点満点
	火星コース走行の得点　（50点満点）	
	火星コースサンプル採取の得点（100点満点）	

各競技での得点項目は、P.11～14を確認しよう！

表彰について

コンテスト各賞を紹介します。総合得点が高い上位3チームに贈られます。入賞を目指して頑張ろう！

① 千葉市教育長賞【小学生部門･中学生部門】（各1組）

授与基準：合計得点の最も高いものに与えられます。
賞品　：賞状・オリジナルメダル

② 準優勝【小学生部門･中学生部門】（各1組）

授与基準：合計得点の2番目に高いものに与えられます。
賞品　：賞状・オリジナルメダル

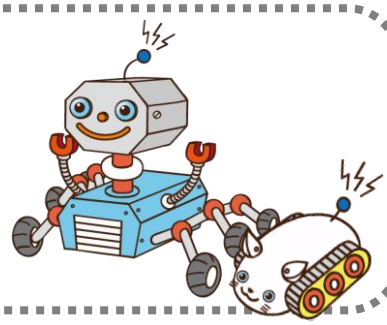
③ 第3位【小学生部門･中学生部門】（各1組）

授与基準：合計得点の3番目に高いものに与えられます。
賞品　：賞状・オリジナルメダル

④ 審査員特別賞【小学生部門･中学生部門】（各１組）

授与基準：デザインやアイデアなどですぐれたローバーを製作したチームや当日のローバー操作で工夫が見られたチームように対して与えられます。
審査員が必要であると判断した場合に、選出されます。
賞品　：賞状・盾

閉会式（表彰式）を行いません。
コンテストの審査結果につきましては、
コンテスト後に科学館ホームページにて公表し、
受賞者の学校へ表彰品を送付させていただきます。



コンテスト申込みの流れ

1. はじめに、申込書類を提出しよう！【FAX不可】

※詳しくは16～22ページをご覧ください。

提出するもの：①コンテスト申込書　②アピールデータ原本　③ローバーの写真（６枚）
提出方法：①、② → 持ち込み または 郵送
③ → メール

※郵送の場合、到着までに時間がかかるため発送日に注意してください。
※3日以内に科学館から受理の確認連絡をします。連絡のない場合はお問い合わせください。

提出期限	11月1日（日）～　11月13日（金）17：00 必着

＜チェックしよう！＞
- □ 濃く、読みやすい字で書けたかな？　※鉛筆や消せるボールペンは使わないでください。
- □ 書き間違いや書き忘れはないかな？

＜注意！＞　申込後から書類選考までは仕様変更はできません。
また、提出期限日時に遅れると書類審査の際、減点となります。

2. 申込み多数の場合、書類選考があるよ！

※詳しくは18ページをご覧ください。

申込み多数の場合、提出された「アピールデータ」「ローバーの写真」で書類選考をおこないます。

3. コンテスト事務局（科学館）から書類が届くよ！

書類選考終了後、科学館から参加者へ書類を送付します。
書類選考の結果にかかわらず全員に送付しますので、届いたら必ず内容を確認してください。
※11月27日（金）を過ぎても必要書類が届かない場合、事務局までお問い合わせください。

＜注意！＞
- 書類に訂正（誤字など）がある場合、11月28日（土）17:00までに事務局へご連絡ください。
  ※出場メンバーやローバー名の変更はできません。引率者は変更可能です。
- 仕様変更条件のもとローバーの仕様変更を行った場合、「変更届」を12月1日（火）17:00までに必ず提出してください。提出期限日時に遅れると書類審査の際、減点となります。※詳しくは、P.17を確認ください。

コンテスト当日にむけて、ラストスパートだ！

【コンテストの実施/中止について】
自然災害などの事情により、やむなく中止となる場合があります。
中止の場合には、コンテスト前々日までに科学館ホームページにお知らせを掲載します。
※急遽、中止する場合もございます。念のため当日の朝にもHPをご確認ください。

火星ローバー コンテスト in 千葉　12月5日(土)

申込み
問い合わせ先

住　所：〒260-0013　千葉市中央区中央4丁目5番1号
千葉市科学館「火星ローバーコンテストin千葉」事務局
電　話：043－308－0511（代表）
ＵＲＬ　https://www.kagakukanQ.com

重要　書類審査後から大会直前までの仕様変更について

申込後の仕様変更はできません。

書類審査で出場が決定したローバーのみ、下記条件付きでローバーの仕様変更が可能です。

変更した場合、返送書類に同封されている「変更届」及び「画像」を12月1日（火）17:00までに必ず提出ください。

【仕様変更条件】

- 車検の「大きさ」と「重量」が規定内であること
- 改良する「車体」※1は、申請時に提示した車体であること
- 申請時の基本機能※2は、維持した改良であること

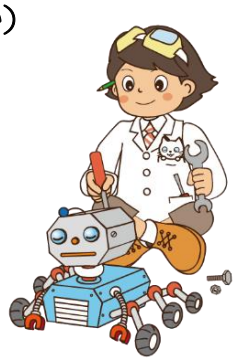
● 提供方法は
「変更届」　→　郵送もしくは窓口
「変更画像」　→　メール　　※どちらも提出期限日時を過ぎると減点となります。

※1【車体】とは・・・
・走行に関係する装置（例えば、モーターやタイヤ）やサンプル採取に関係する装置を取り付けているローバー全体を支える部分。
審査を通過した車体のメインフレーム（骨格）および主要な動力源を変更した場合は、別車体とみなす。

※2【基本機能】とは・・・
・車輪やクローラなどの走行機構、押したり掴んだりといったサンプル採取の機能・機構。

☆機構：どういう仕組み・構造になっているか
例：車輪式かクローラ式か、4輪独立駆動か、アームがリンク機構かラック＆ピニオンか
☆機能：どんな働き、役割をするか（何ができるのか、何のためにあるのか）
例：走行できる（前進・後退・旋回）、サンプルを押せる／掴める／運べる

気を付けながら最終調整だ！

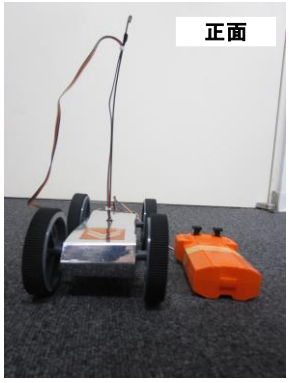


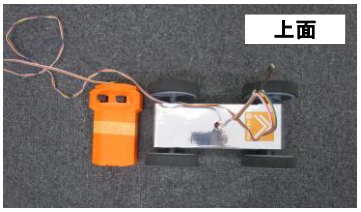
書類選考について

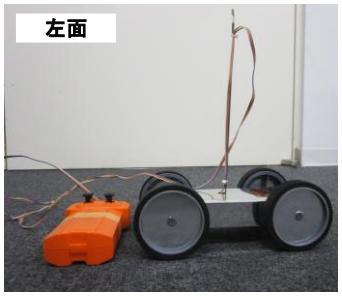
申し込み多数の場合、書類選考をおこなうことがあります。

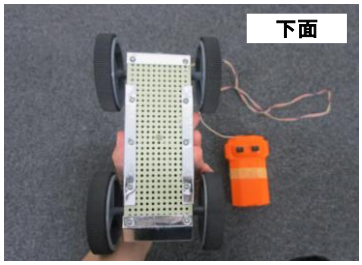
1．書類選考に使うもの

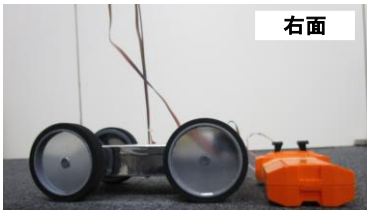
- アピールデータ
- ローバーの写真（6枚）
  上面、下面、左側面、右側面、正面、背面をローバー全体(コントローラー含む）が見える画像 ※機構が見えなくならないように、コントローラーの位置には気を付けてください。
  ※データ名にどの向きかの記載をお願いします。











それぞれの角度から機構が分かるように撮ろう！
写真が６枚に収まらない場合は、枚数を追加してもOK

写真は以下のアドレスにメールで送付してください。

→ marsrover@kagakukanQ.com

※件名に【代表者名】を記載ください。
※一度に送信できるデータサイズは、8MBまでです。

2．書類選考の流れ

・アピールデータと写真の内容を、下記の基準で審査します。

【審査のポイント】

①走行に関するアピールポイントが具体的に書かれているか？

②採取に関するアピールポイントが具体的に書かれているか？

③ローバーの機構にオリジナリティを感じる工夫がなされているか？

④その他（ローバーの完成度、意気込みなど）

・審査の結果、より良い内容のチームがコンテストに出場できます。

申込書の書き方

コピーを
とっておくと便利だよ。

申込み受付は、 2026年11月1日（日）～ 11月13日（金）17：00まで 必着 です。

第28回 火星ローバーコンテスト in 千葉 申込書

※以下の太枠内は、必ず記入してください。

申込日：2026年 11月 △ 日

出場者・引率者情報

	出場者／引率者（どちらかに〇）	氏名（出場者の場合は学年・コンテスト出場回数も記入してください）
①	出場 ／ 引率	よみがな　か　が　く　た　ろ　う 科 学 太 郎　（ 4 学年）（ 2 回目）
②	出場 ／ 引率	よみがな　か　が　く　は　な　こ 科 学 花 子　（ 2学年）（ 1 回目）
③	出場 ／ 引率	よみがな　か　が　く　まなぶ 科 学 学
④	出場 ／ 引率	よみがな

出場者・引率者合わせて4名まで入場可能です。

※【出場者】は申込み後の変更ができません。
※【引率者】は申込み後にも変更可能ですが、変更の申請が必要です。
※【引率者】を【出場者】に変更することはできません。

学校名	千葉市立きぼーる小 学校	写真・動画使用の承諾について
部活動（科学部など）として参加する場合は、部活動名と顧問氏名を記入してください。	部活動名： 部 （よみがな ： 顧問氏名：	事務局が撮影した写真・動画が、広報や結果発表のため使用される可能性があることを承諾します。 ☑ ※チェックを入れてください。
住所（書類等送付先）	〒 260 － 0013 千葉市中央区中央〇丁目△番地	
電話番号	043-×××-△△△	
メールアドレス（写真送付のもの）	mars-rover@gmail.com	

2ページの内容を確認した上でチェックを入れてください。

・ここに書いた住所へ、必要書類を送ります。
・学校内のチーム（部活動など）の場合は、学校の住所・電話番号でも構いません。
・電話番号・メールアドレスは連絡がとりやすいものを記入ください。
・メールで連絡をする可能性があります。
marsrover@kagakukanQ.com
このアドレスからのメールを受信できるよう設定しておいてください。

ローバー情報

ローバー名称	よみがな　まーず　にごう マーズ２号
部　門（当てはまるものに〇）	①. 小学生部門　2. 中学生部門
無線コントローラの有無（当てはまるものに〇）	1. 無線あり　② 無線なし（有線コン ※無線ありでご参加の方は、使用する無線の種類を
使用する無線の種類（当てはまるものに〇）	1. 電　波 ［ 27MHz帯 ・ 40MHz帯 ・ Bluetooth（2.4GHz帯） ］ 2. 赤外線 3. その他 （　　） ※無線コントローラを使用したローバーで出場する方の中で、チャンネル変更のできる機種の場合、当日チャンネル変更をお願いすることがあります。
ローバーの分離の有無（親機と子機に分離する等、当てはまるものに〇）	1. 分離する　② 分離しない ※分離するローバーでご参加の方は、スタート地点では分離していない状態でスタートしてください。

保護者署名欄

※必ず記入ください。チーム参加の場合、参加児童・生徒の保護者の内、代表者1名がご署名ください。

保護者氏名（自筆）	大会規定書の内容を確認し、火星ローバーコンテストin千葉への参加を承諾します。 科 学 学

保護者の方に名前を書いてもらいましょう。
※チームの場合は、どなたか１名

事務局記入欄	受付番号	受付日	申込書到着
		月　日（　受）	月　日（

事務局の人が使います。ここには何も書かないでください。

火星ローバーコンテストin千葉 事務局宛

アピールデータの書き方

コピーをとっておくと便利だよ。

※申込後から書類審査まではローバーの仕様変更はできません。

★注意★
- アピールデータは、書類審査の他、コンテスト当日に審査の参考にする資料です。よく見えるよう、濃くはっきりと書いてください。（**鉛筆・消せるボールペン不可**）
- コンテスト当日、アピールデータ（コピーしたもの）が会場内に掲示されます。

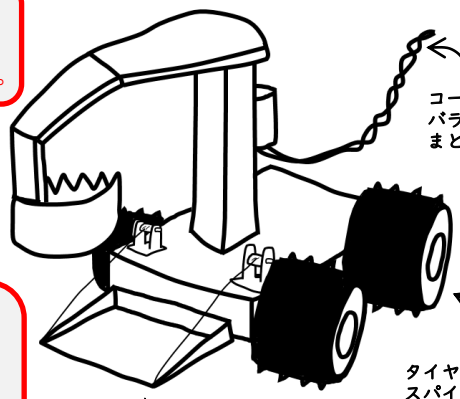
※濃くはっきりと書いてください（鉛筆・消せるボールペンは不可）。

▶ ローバー名	マーズ２号	▶ 出場部門（小 または 中）	小 学生

▶ ローバーの構造や仕組み機能など

※説明図は手書きで記入してください（写真不可）。
※ローバーが 未完成の場合は、どの部分を調整する予定なのか記入してください。

写真は使えません。自分のローバーをよく見てかきましょう。



- ローバーの特徴を文章で書きましょう。
- 未完成の部分は、どの部分をどのように調整する計画なのか書きましょう。

ローバーの完成度チェック表（できたものに○をつけよう）

たいらな道を3m直進できる	
約3cmの段差をのぼりおりできる	○
20°の坂道をのぼることができる	
約3×3×3cmのメラミンスポンジを3m運ぶことができる	○
約70gのサンプルを3m運ぶことができる	

【材料費】合計 5000 円

ローバーの完成度を自分でチェックしてみましょう。（試走会でもチェックできます。）

▶ 走行部分に関するアピールポイント	段差を楽にのぼることができるように、タイヤにスパイクをつけました。また、コードがタイヤに絡まらないようにまとめています。
▶ 採取部分に関するアピールポイント	アームは、サンプルをすくい上げて取る方法と、下のちりとり部分で運ぶことができます。アームは上下に大きく動かすことができます。
▶ 火星コースサンプル採取ミッションにおける作戦内容	サンプルaとｂを、2つ同時にはこびます。サンプルcは転がりやすいので、アームで上からおさえながらはこびます。時間があれば、サンプルdもねらいます。

ローバーの製作で工夫した点や注目してほしい部分などを書きましょう。

どんなコースをとるのか、ねらっているサンプルなどを書きましょう。

第28回 火星ローバーコンテスト in 千葉 申込書

※以下の太枠内は、必ず記入してください。　　申込日：2026年　　月　　日

出場者・引率者情報

	出場者／引率者（どちらかに〇）	氏名（出場者の場合は学年・コンテスト出場回数も記入してください）
①	出場　／　引率	よみがな （　　学年）（　　回目）
②	出場　／　引率	よみがな （　　学年）（　　回目）
③	出場　／　引率	よみがな （　　学年）（　　回目）
④	出場　／　引率	よみがな （　　学年）（　　回目）

学校名	学校	**写真・動画使用の承諾について**
※学校の部活動として参加する場合はこちらも記入してください	部活動名：　　部 （よみがな　：　　） 顧問氏名：	事務局が撮影した写真・動画が、広報や結果発表のため使用される可能性があることを承諾します。 ☐ ※チェックを入れてください。
住所（書類等送付先）	〒　　－	
電話番号		
メールアドレス（写真送付のもの）		

ローバー情報

ローバー名称	よみがな
部　門 （当てはまるものに〇）	1. 小学生部門　　2. 中学生部門
無線コントローラの有無 （当てはまるものに〇）	1. 無線あり　　2. 無線なし（有線コントローラ） ※無線ありでご参加の方は、使用する無線の種類を必ず記入してください。
使用する無線の種類 （当てはまるものに〇）	1. 電　波［ 27MHz帯 ・ 40MHz帯 ・ Bluetooth（2.4GHz帯）］ 2. 赤外線 3. その他（　　） ※無線コントローラを使用したローバーで出場する方の中で、チャンネル変更のできる機種の場合、当日チャンネル変更をお願いすることがあります。
ローバーの分離の有無 （親機と子機に分離する等、当てはまるものに〇）	1. 分離する　　2. 分離しない ※分離するローバーでご参加の方は、スタート地点では分離していない状態でスタートしてください。

保護者署名欄　※必ず記入ください。チーム参加の場合、参加児童・生徒の保護者の内、代表者1名がご署名ください。

保護者氏名（自筆）	大会規定書の内容を確認し、火星ローバーコンテストin千葉への参加を承諾します。

事務局記入欄	受付番号	受付日	申込書到着連絡	入力
		月　日（　受）	月　日（　連絡）	月　日（　入力）

＜申し込み＞期 間：2026年11月1日（日）～11月13日（金）17：00まで必着

郵 送：〒260-0013　千葉市中央区中央4丁目5番1号　千葉市科学館　火星ローバーコンテストin千葉 事務局宛

THE 28th MARS EXPLORATION ROVER CONTEST ★APPEAL DATA

アピールデータ

※濃くはっきりと書いてください（鉛筆・消せるボールペンは不可）。

▶ ローバー名		▶ 出場部門（小 または 中）	学 生

▶ ローバーの構造や仕組み機能など

※説明図は手書きで記入してください（写真不可）。
※ローバーが 未完成の場合は、どの部分を調整する予定なのか記入してください。

ローバーの完成度チェック表（できたものに○をつけよう）	
たいらな道を3m直進できる	
約3cmの段差をのぼりおりできる	
20°の坂道をのぼることができる	
約3×3×3cmのメラミンスポンジを3m運ぶことができる	
約70gのサンプルを3m運ぶことができる	

【材料費】
合計　　円

▶ 走行部分に関するアピールポイント	
▶ 採取部分に関するアピールポイント	
▶ 火星コースサンプル採取ミッションにおける作戦内容	